

(仮称) 江戸川区公共施設再編・整備計画策定区民会議

区民ワークショップニュース

公共施設の再編計画の策定に向けて、第3回区民ワークショップを開催しました。
今回も書面とWebを活用し、「2100年の江戸川区 共生社会ビジョン」を基にした意見交換を行いました。

◆ 開催結果概要

日時 令和4年12月22日（木）

午後7時～午後8時30分（Web）

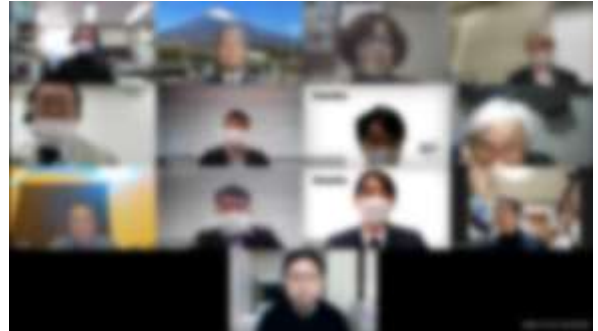
参加 27名（Web参加者：7名）

議題 ・これまでの振り返り

・検討の基礎となる情報の説明

・意見交換

～2100年の江戸川区 共生社会ビジョンの
実現に向けて～



Web方式のワークショップの様子。
活発な意見交換を行うことができました。

主な意見

■ 共生社会ビジョンに対する意見・感想

- ・江戸川区のみならず全国的にもつべき問題意識であると感じた
- ・未来の世代を考えて行動することが必要だと感じた
- ・未来の描き方が、自分が子どものころに描かれていたものと比べると暗くなったと感じる
- ・理念が先行する部分が多く、ロードマップなどの具体的な道筋を示した方がより理解を深められる

■ 行政サービスについて

【将来も必要と考えられる行政サービス】

- ・人々のつながりを生み出し、交流を促進する施設
- ・子どもが思い切り体を動かして遊ぶことができる環境
- ・清掃関連施設
- ・住民票や戸籍等に係るサービス
- ・出産時から高校・大学まで続く子育て支援
- ・引きこもりや高齢者の見守り・支援
- ・安心・安全・人命に係るサービス
- ・防災対策

【将来必要ではないと考えられる行政サービス】

- ・民間で代替可能なサービスや施設
- ・利用者が限定的である施設
- ・施設がもたらす効果と比べて、維持コストが高額となる施設
- ・人口に比べて多すぎる施設
- ・利便性や使用頻度が低い施設
- ・大型の公共施設
- ・手厚すぎる支援サービス
- ・リアル(対面)での対応が不要だと考えられるサービス

主な意見

■ がまんしなければならない行政サービスとは

- ・ 利用頻度、維持費、人口規模に見合わない施設
- ・ 必要数以上の施設（統廃合などによって効率化する）
- ・ 採算が悪い施設
- ・ 特定の世代しか利用することができない施設
- ・ 民間に任せることが可能なサービス
- ・ 各種申請や相談窓口のリアル(対面)での対応（デジタルを推進する必要）

■ 健全な行政サービスを維持するための区の役割とは

- ・ 人口や利用率を勘案して施設を再編する
- ・ 施設の運営経費や利用状況を把握し、情報開示する
- ・ 公共施設の利用状況をシステムで一元的に管理することにより、効率的な利用を促進する
- ・ 特定の世代しか使えない施設ではなく、子どもから熟年者まで利用できる施設を整備する
- ・ 施設を複合化して多くの機能を持たせることで、人が集まる施設を目指す
- ・ 近隣自治体の施設との相互利用を促進する
- ・ 多様化・高度化する区民のニーズに対応できるよう、民間事業者を導入する
- ・ 需要や社会情勢の将来的な変化に対応可能な施設を整備する
- ・ 公共施設におけるデジタル化を進めていく（図書館の書籍や所蔵資料など）

■ その他の意見

- ・ 行政サービスをがまんする・手ばなすことを考えるよりもサービスの効率化を図るべきである
- ・ 江戸川区が立ち行かなくなる可能性を含めて説明し、区民に危機感を共有したほうがよい
- ・ 共生社会ビジョンに共感する区民が増えるように広報戦略を図るべきである
- ・ 江戸川区への若者の流入を促進してほしい
- ・ 区民交流の機会を増やすイベントの開催などによって、施設の利用を促進するとよい
- ・ 地域の活性化を図るだけではなく、社会的弱者も共存する地域社会を目指してほしい

◆ 皆様から頂いたご意見を踏まえ、計画を検討していきます。

江戸川区HP 勉強会
二次元コードは、こちら >>>

